

マイクロ波映像レーダがとらえた筑波学園都市周辺（２）

データ収集：独立行政法人・通信総合研究所

データ処理：東京理科大学・国土情報工学研究会

前掲の X バンド PI-SAR 画像と比較できるように、L バンドの波長（約 24cm）で観測された筑波学園都市周辺の映像（地上分解能：3m）を掲載しました。L バンドの画像は、X バンドの画像に比べて分解能は低いものの、市街地や農地、樹林地のコントラストの違いが明瞭であることが判ります。これは、L バンドのマイクロ波が農地では透過し、市街地や樹林地では散乱していることを意味しています。このようなマイクロ波の偏波特性や散乱特性を利用して、地表面の状態を様々な視点から分析できます。昼夜全天候型観測が可能な PI-SAR から観測されるデータは、今後、

観測日：1997/9/30；Lバンド（地上分解能：3.0m）



カラー合成画像（HH偏波：赤、VH偏波：緑、VV偏波：青）



HH偏波画像



VH偏波画像



VV偏波画像

© Communications Research Laboratory, 1997